

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

発達障害を中心とした障害のある子供に対する発達段階に応じた指導・支援について理解を深めるとともに、個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成・活用、学校間での十分な引継ぎ、指導・支援の共有を推進する。

早期からの個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成は進んできたが、その活用と学校間の引継ぎ、支援地域内での活用に課題があったため、幼稚園及び小・中・高等学校のコーディネーターを対象とした各種研修を行う。

また、小・中・高等学校及び特別支援学校において、研究指定校指定事業を実施し、切れ目ない支援体制づくりの基盤となる、校内委員会や校内(園内)支援体制の整備の充実に資する研究、研修を行う。



成果

各種研修を通して、特別支援教育コーディネーターが中心となり、関係機関と連携した個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成・活用する気運が高まった。その結果、両計画を活用した引継ぎの充実と支援地域内における指導・支援方法の共有を図ることができた。

研究指定校指定事業においては、特別支援教育に関する専門的な指導・助言により、組織的な対応ができるよう、校内委員会や校内支援体制の整備、円滑な引継ぎの方法等について実践研究を行うことができた。特に高等学校においては、専門家チーム委員の派遣により、個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成及び活用について研修を行ったことで、進学や卒業時における両計画を活用した引継ぎの重要性について理解を深めることができた。

事業内容

○主な取り組み

【幼稚園・幼保連携型認定こども園及び、公立高等学校の特別支援教育コーディネーター研修会の充実】

・全公立幼稚園・幼保連携型認定こども園及び高等学校において、特別支援教育推進の中心となる特別支援教育コーディネーターを対象に、発達障害を含む障害のある幼児や生徒の理解と指導・支援の在り方、関係機関等との連携についての研修や直近の課題等について、情報交換や協議等を行い、特別支援教育コーディネーターとしての資質及び専門性の向上を図った。

【研究指定校指定事業】

・小・中・高等学校及び特別支援学校を研究指定し、特別な支援を必要とする児童生徒の学習上の困難を改善することを目的とし、ICTを利活用した効果的な授業づくりに向けた取り組みや、ライフサポートファイルを活用した地域の関係機関との連携の在り方、並びに個別の教育支援計画の活用に関する実践研究をとおして、特別支援学校のセンター的機能の充実を図った。また、小・中・高等学校及び特別支援学校の研究指定校において、インクルーシブ教育システムの理念の構築に向けて、基礎的環境整備の充実を図るとともに、障害のある児童生徒やその保護者に対して、柔軟できめ細やかな対応ができる一貫した支援体制の推進を図った。

【千葉県専門家チーム委員派遣事業】

・県立高等学校における特別支援教育の体制整備を進めるために、学識経験者による専門家チーム委員を各学校や特別支援教育コーディネーター研修等に派遣し、教職員に対しそれぞれの専門的な立場から指導・助言を行った。